

□ 情報提供項目

新型コロナウイルスのワクチン接種や福島県南相馬市への応援派遣、イベントなどについて市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 南相馬市の応援派遣の出発式を行う予定はあるか

市 出発式は予定していない。先週金曜日、市長から派遣職員に対して激励の言葉をかけたところである。

記者 春まつりは延期になったようだが、変更後の日程は決定しているか。

市 まだ決定していない。連休明けに実行委員会などで話し合ったうえで決定になると思う。わかり次第案内したい。

記者 広域道の駅の名称発表の日程の見通しはどうか。

市 5月中旬となる。本来であれば市民の方がいるところかと思っていたが、春まつりが延期となった。道の駅の国交省の申請の時期が迫っているので、市独自で公表とすることとする。5月16日(月)13時30分から市役所で発表予定。詳細が決まり次第お知らせする。3月末、県で公表した日本海溝・千島海溝沿い地震の浸水想定に関連についてお伺いす

記者 る。いくつかの市町村では、ハザードマップの見直し、防災マップの検討や発表したことに対する住民向け説明会など、いくつか動きがあるようである。久慈市で現状検討していることや、決まっていることがあれば教えてほしい。

市 県の浸水公表を受け、住民への説明会は6月上旬に開催したいと思っている。県からも説明会に参加いただけるということで、県と調整中であるので、決定後にお知らせしたい。今回の浸水想定を受けて、ハザードマップを更新するが、現在作成中で来年の2~3月頃になろうかと思う。変更後のハザードマップを配布し、令和5年度からハザードマップの説明会を行いたい。今後、避難場所、避難路等の見直しも検討していきたいと考えている。

記者 ハザードマップの今の最新版はいつなのか。どの程度の見直しになりそうか。現時点の見通しを教えてください。

市 前回の見直しは平成30年3月である。県で洪水の浸水、土砂災害警戒を発表しているので、それらも反映させて見直しを行う。

自主防災組織の関係は、防災担当課と市民センターと組織化するための勉強会を随時行っていきたいと考えている。その中のひとつで、5月18日に中央市民センターで防災勉強会をしながら、地域での自主防災組織化に向けての意識啓発の勉強会行っていきたい。命を守る地域の人たちが助けあって避難していくことを推奨していきたい。

自主防災組織は、現在作っている最中か、既存はあるのか。

記者 最新で結成率48.2%で、これまでに28団体結成されている。年度内に100%を目指して各部関係課で連携していく。

ぶらっとてしごといち(資料6)が、霜畑小学校が会場なのはなぜか。

記者 昨年も同じ場所で計画していた。地域の人にも理解を示していることから開催する運びとなった。

記者 のんさん関係だが、R i b o n nキャンペーンは5月でイベント終了か。その後の予定はあるのか。

市 R i b o n nのキャンペーン自体は5月19日で終了だが、くじのん「くじのんびり旅」は年度内ということでのんさんと動いている。随時新しい動きをお知らせしていきたい。パンフレットや今ポスターも作成しているので、各地に貼っていただきPRしたいと考えている。

記者 先月の記者懇談会で、庁舎の見直しが話題になったと思うが、その後作業が進んだとか、検討したことがあったら教えてほしい

市 結果を受け、災害対策の拠点となる本庁舎の在り方について検討していかなければならないと思っている。内部でどのように具体的に検討進めて行ったらよいか検討しているところである。